

FAB vol.4 2023 CONTENTS

公刊の辞		1
論文		
メモリアル・ファッション——戦災・震災の展示と芸術実践から考える喪の作業 田中雅一／寺戸淳子／丹羽朋子／河西瑛里子		3
ベルギー系ファッション・デザイナーの原点とは？ アントワープ王立芸術アカデミーにおけるファッション教育	三木勘也	34
The Dawn of Russian Youth Culture in the Post-Soviet Era: An Aesthetic Study on Gosha Rubchinskiy	藤沢亮太郎	66
ワードローブからみるファッションイメージとカラー傾向——服飾学生の事例から 松岡依里子／倉内尚士		88
単色の色彩商標の保護可能性——ルブタン「レッドソール」は保護すべきか？ 西村雅子		105
フランス絶対王政期における男性のかつらと帽子	平野 大	123
「トレンド感性分類」の美学論的アプローチ エドモンド・バークの趣味論にもとづいて	平野 大	143
賭事をめぐる日英比較文化	山本雅男	157
現代のイギリスにおけるヒーラーたちのヒーリング	河西瑛里子	170
「アヴァロン」と「グラストンベリー」——聖地にみられる二面性	河西瑛里子	188
現代日本における動物倫理の議論——「供養」という連環的生死観に注目して 小澤茉莉		201
研究ノート		
持続可能なアート・コレクティヴの実践 《ルル学校》と「ドクメンタ 15」から考える	廣田 緑	213

特集

- メイド・イン・ジャパンのものづくり 金谷美和／丹羽朋子 228
- 序・メイド・イン・ジャパンのものづくりを考える 宮脇千絵 229
- 地域文化商社として服・店・情報・ツーリズムを総合力で伝達 白水高広 234
- 「メイド・イン・ジャパン」が意味するものはなにか？
フランスにおいて流行する「日本製」の衣服を事例に 高馬京子 245
- コメント（1）メイド・イン・ジャパンの価値 蘆田裕史 251
- コメント（2）ジーンズ産地、倉敷市児島から考える「メイド・イン・ジャパン」
池上慶行 255
- コメントへの応答とディスカッション 金谷美和 263

報告

- 共同研究「東海地域における養蚕業の再興に関する学際的研究」の報告
高間由美子／安念真衣子／大島一豊／奥村 潔／守屋孝典 273
- 共同研究「静岡県天龍社繊維産地における別珍・コール天生地製造関連企業の研究」の報告
篠原航平 281
- ファッションとファッション産業の課題と適応
共同研究「SDGs と大阪・関西万博、ファッションにできることは」の報告
富澤修身 283
- 個展《絶滅種：僕たちが昭和に残した永遠》 今村 淳 288
- プレ研から臨地実習へ——名古屋キャンパスによる学びの挑戦
大島一豊／高間由美子 291

展覧会評

- 戦後日本のクラフト・デザインを支えた女性
「中上良子——陶磁器デザイナー・エマイユ作家として」展 廣田 緑 301
- 東京タロット美術館でファッションと魔術について考える 河西瑛里子 309

書評

- 高木陽子・高馬京子編『越境するファッション・スタディーズ
——これからファッションを研究したい人のために』 平野 大 315
- 奥山雅之・加藤秀雄・柴田仁夫・丹下英明編
『繊維・アパレルの集団間・地域間競争と産地の競争力再生』 篠原航平 319
- 菅付雅信著『不易と流行のあいだ——ファッションが示す時代精神の読み方』 高橋幸治 323
- 廣田緑著『協働と共生のネットワーク——インドネシア現代美術の民族誌』 金谷美和 327
- 石井美保・岩谷彩子・金谷美和・河西瑛里子編
『官能の人類学——感覚論的転回を越えて』 関根麻里恵 330

紹介

- Yorozuya Yohaku and Ramona du Houx
Coastal Maine in Words and Art: Gallery Fukurou's Reflections by Maine Writers, 2019
山本雅男 334

- 臨地実習Ⅱ 報告 338
- 東京キャンパス 339
- 大阪キャンパス 355
- 名古屋キャンパス 382

共同研究報告

- ファッション教育の比較研究 田中雅一 389
- ファッションとアートの連環にみるモードの変遷の研究 今村 淳 390

- 投稿規程・編集委員会 391

- 編集後記 393

